

# 名誉町民に山本敏孝氏

9月7日、第3回町議会定例会で、山本敏孝氏（中通区）に名誉町民の称号が贈られることになりました。山本氏に感想などをお聞きしました。

## 政治家になったきっかけ

私は、大学を卒業して東京でサラリーマンになると思っていました。高校3年生の時に、大叔父の梅野鶴市から社会勉強のために東

京で代議士の秘書をしてみないかと言われ、田舎を飛び出したいという気持ちがあった私は、「東京だったらいいですね。」とすぐに返事をしました。それが政治家になるきっかけとなりました。

## 代議士の秘書時代

父に「遊びで行くのではないのだから『石の上にも3年』ということわざどおり、やるからには3

年は頑張りなさい。」と言われました。

最初の頃は、関谷代議士から「〇〇さんに電話して」と言われたときに、会話からその相手が誰であるかを瞬時に判断しなければならず、とてもプレッシャーで、当時、一緒に住んでいた叔母に「寝言で電話番号を言っているよ。」と言われるほどでした。

20歳の時には、第1秘書という重要なポストとなり、毎日背伸びのしっぱなしで、かかをとつけて仕事がしたいと思いつながら、22年の月日が流れていました。

## 愛媛県議会議員時代

愛媛県武道館の建設にあたっては、いろいろな県産品が使われているのに、砥部焼が入っていないかったため、入れてもらうようにお願いしました。また、砥部に動物園が誘致されたときは、砥部町からの負担が少なく実現できるように努めました。

一番尽力したことは、県立中央病院にPETCTを導入したことです。県では反対していましたが、県下全域の医療機関やがん患者にアンケートを行った結果、必要性を痛感し、自分自身もPETCTについて

勉強しました。

限られた予算でいろんなことをしなければならぬなか、県民の命を守ることが一番大事だと思いで、PETCTの導入を主張し、理解をいただきました。

## 名誉町民の称号をいただいて

研究の成果が認められ、賞をもらう人がいます。しかし、政治家が成果を出すためには、キャリアがないと十分な仕事ができないことが多いため、続けて選挙に当選しなければなりません。

砥部町の皆さんのお世話になり、引つ込み思案で政治家に向いてない私を8回も当選させていただきました。愛媛県として砥部町の発展のために精一杯努めさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。心よりお礼申し上げます。

## 山本敏孝氏の主な略歴

- 昭和36年 代議士秘書
- 昭和58年 愛媛県議会議員当選
- 平成3年 愛媛県監査委員
- 平成8年 愛媛県議会副議長
- 平成13年 愛媛県議会議長
- 平成15年 藍綬褒章受章
- 平成27年 愛媛県議会議員退職
- 平成28年 旭日中綬章受章



# 異文化体験

## 青少年国際交流事業でポーランド訪問

8月18日から28日までの11日間、中学生10人と町職員1人がポーランド共和国へ研修に行きました。

中学生はホームステイや学校研修などを通じて、ポーランドの歴史や文化、自然などを学びました。また、町職員はリジナ市長やチャルンクフ市長と会談し、リジナ市やチャルンクフ市と砥部町の文化、教育、経済など幅広い分野にわたる今後の関係強化について意見交換を行うなど、充実した研修となりました。

### 日程

8月	地名(宿泊)	内容
18日(日)	移動日 (成田泊)	砥部町発→松山空港→羽田空港→成田空港
19日(月)	ワルシャワ (ホテル泊)	オールドタウン散策
20日(火)	ポズナニ (ホームステイ泊)	ワジキ公園散策、ホストファミリー対面
21日(水)	ポズナニ (ホームステイ泊)	リジナ市長訪問、リジナ観光
22日(木)	ポズナニ (ホームステイ泊)	陶器の町ホジェシュ訪問、ポズナニ観光 アートスクール訪問
23日(金)	チャルンクフ (ホームステイ泊)	チャルンクフ観光、ホストファミリー対面
24日(土)	チャルンクフ (ホームステイ泊)	チャルンクフスクールで交流 チャルンクフ市長訪問(町職員) ホストファミリーとのディナー
25日(日)	ポズナニ (ホテル泊)	チャルンクフスクールで交流 ポズナニで観光とショッピング
26日(月)	ワルシャワ (ホテル泊)	ワルシャワ観光、大統領官邸訪問 ショッピング
27日(火)	移動日 (機内泊)	ワルシャワ空港→成田空港
28日(水)	移動日	成田空港→羽田空港→松山空港→砥部町着



オールドタウンの博物館(ワルシャワ)



チャルンクフスクールでおにぎりづくりをして交流(チャルンクフ)



ポズナニアートスクールの学生と交流(ポズナニ)



ホジェシュの陶器工場(ホジェシュ)



村上 遼太郎さん

初めての海外旅行で、日本を離れるときはとても不安でした。しかし、ポーランドの人々は、とても優しく、すぐになじむことができました。

ホームステイ先では、日本のお土産をプレゼントすると「ありがとう!!」と言ってくれて、とてもうれしかったです。

ポーランドは、文化・自然・街並み、全てにおいて美しい場所でした。今回の研修で、見て、聞いて、感じて、学んだことを忘れず、将来の夢に向かって努力し続けたいです。



二宮 寛隆さん

私は、この研修を通して、たくさんの素晴らしい経験ができました。食事や生活スタイル、言葉などポーランドと日本の文化はとても違います。そこで、海外でのルールや礼儀、マナーを学ぶことができました。

たくさんの人の支えのおかげで、とてもいい経験になり、皆さんに感謝しています。

この研修を胸に世界に羽ばたけるよう、努力したいと思います。



重松 花奈さん

私の心に残っているのは、ホームステイです。街に行ったりポーリングで遊んだりしました。私のスーツケースが無くなった時は、プレゼントや洋服をくれ、ポーランド人の優しさをたくさん感じました。また、会話ができるのか心配していましたが、進んで話すことができとても嬉しくさらに英語が好きになりました。外国の文化や生活に触れ、視野が広がり、自分なりにたくさん成長ができ、ポーランドが大好きになりました。



亀井 沙奈さん

国際交流事業で、素晴らしい経験ができたことに、感謝しています。そのおかげで、外国人に話しかける勇気が持てるなど大きく成長できました。最初は、ホストファミリーが話しかけてくれないと話せなかったけど、最後には、自分から趣味のことなどを話せました。また、ポーランドの文化や歴史にもたくさん触れ、勉強になりました。

この研修で学んだこと、感じたことを生かし、国際社会で役立てるような人間になりたいです。



松本 諒さん

ポーランドに着き、初めて街並みを見たとき、感動しました。それは、教科書でしか見たことのない建物や景色が目の前に広がっているからです。

最初は、英語でしか会話できなかったり、慣れない環境で生活したりすることに戸惑いました。しかし、ホームステイ先では温かく迎えてもらい、コミュニケーションをとることで自信につながりました。

今回の海外研修で、日本とは違う歴史や文化に触れ、さまざまな経験ができました。



越智 柚月さん

私は、ホームステイが印象に残っています。ポーランド語を話せず、コミュニケーションに不安を感じていました。しかし、ホストファミリーは暖かく迎えてくれ、私のつたない英語やポーランド語を辛抱強く聞き、最初はぎこちなかった会話も徐々に楽しくなっていました。伝えたいことが上手に言えず、もっと英語を勉強したいという思いが強くなりました。

いろいろなことを感じたり、学んだりでき、充実した研修になったと思います。



吉見 暖さん

ポーランドでは、たくさんの人に出会い、本当に楽しい旅をすることができました。

ポーランドの人々は、私たちをととても歓迎してくれました。特にホームステイでは、優しいホストファミリーとたくさんの思い出をつくることができました。その分、別れはととても悲しかったです。

ホームステイ以外にも、いろいろな場所に連れて行ってもらい、私にとって一生かけがえない思い出ができました。



関谷 真由さん

日本から一歩踏み出すと、全く違う世界が広がっていて、生活・文化の違いにとまどいました。しかし、自分の国以外の人と関わることがどれだけ楽しく素晴らしいかを感じました。最初は、外国人と話すのはとても怖く感じていましたが、言語が異なっても心が通じて、コミュニケーションをとることの楽しさを学ぶことができました。

日本に帰ると、人見知りもうそのようななくなり、自分だけでできることが増え、自立という目標に大きく近づけました。



一木 千愛さん

ポーランドの人々との交流が多く、日本では学べない大切なことを学びました。

ポズナニでお世話になったホストファミリーは、いつでも優しく接してくださり、チャルンクフでお世話になったホストファミリーは、会話がかみ合わないとき、身振り手振りで一生懸命伝えてくださり、両ファミリーにととても感謝しています。

今回学んだことを生かすにはどうすればよいのかよく考え、必ず実行していこうと思いました。



田川 智乃進さん

ポーランドは、夏でも涼しく過ごしやすい国でした。また、英語が通じたので、ポーランド人は国際意識が高いと思いました。

街には新しい背の高いビルがたくさんありましたが、第一次世界大戦で戦場になっていたにも関わらず、古くからの建物がたくさんありました。後世に歴史を残したいと戦後に再建されたものがあるそうです。

英語が通じたときの喜びはすごく、他国とのつながりを感じました。